

多くの野生動物が利用するどんぐり。今年も市内のどんぐりが実る木367本の着果状況を調査しました。

左の図は、市内西部を7つのエリアに分けどんぐりの着果状況を表したものです。どんぐりは、ブナ(Dエリアのみ)、ミズナラ、コナラ、ヤマグリです。

着果状況は昨年に比べて少し悪いですが、A～Gエリア全体の実りとしては昨年同様並作です。

樹種別にみると、昨年豊作だったブナが凶作、ミズナラ・コナラが昨年に続き並～豊作、昨年不作だったヤマグリは不～並作です。

また、本市の西に位置する檜原村の状況を2地点確認し、ミズナラが不～並作、ヤマグリとコナラが並作でした。

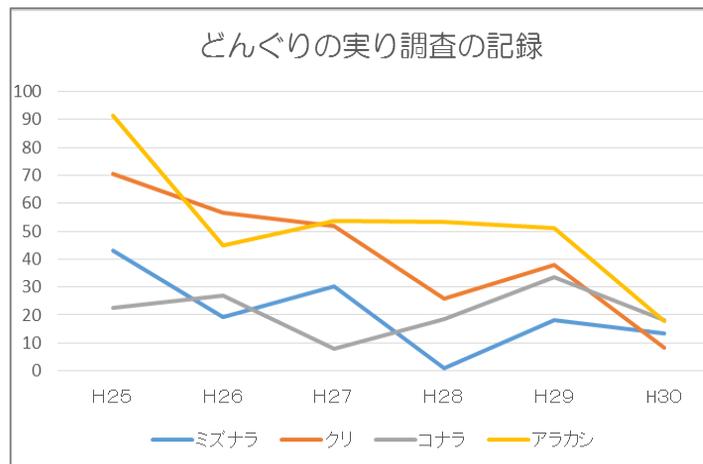
樹種	着果状況
ブナ	凶
ミズナラ	並～豊
ヤマグリ	不～並
コナラ	並～豊

クリは、どんぐりの中で最初に成熟し、早い所では8月下旬から哺乳類が利用し始めます。人家付近にあるクリやカキは収穫しましょう。

コレンジャー活動報告 1 「どんぐりの実り調査」



どんぐりの実り調査の記録



縦軸は実の数、横軸は実施年。

猛暑となった8月の活動日、どんぐりの実り調査を行いました。

暑い中、汗を拭いながらミズナラ、クリ、コナラ、アラカシの実を調査し、結果をまとめました。平成25年からの記録を見ると今年は昨年に比べて実が少ないことがわかりました。

調査地では、穴の開いたどんぐりや未熟などんぐりが枝ごと落ちていて、葉が何者かに食べられていることを発見し、色々な生き物に利用されていることを知りました。

裏面へつづく→

